伊奈冨神社（いのう）の

初詣

令和八年

午年　御鎮座二千百十九年

HP

お問合せ　〇五九ー三八六ー四八五二

神棚・御神札のまつり方動画が見られます。

【主な祭典・行事】

十二月三十一日　午後三時
- 年越の大祓式

一月一日（元旦）午前零時
- 歳旦祭初神楽

一月三日　午前十一時
- 正月三日神楽（雅楽奉納）

※予定を変更する場合がございます。予めご了承下さい。

【どんど焼き】

十二月三十一日　午後十半時より

一月　一日（元旦）～三日　夕方迄

七日（山神祭）午前十時頃迄

十二日（御鍬祭）午後四時頃迄

※古い御札や御守、注連縄、神棚などをお持ち下さい。人形などはご遠慮下さい。古札納所では年中、古い御札など承っております。

【その他のご案内】

- 新年祈祷
- 厄除祈願
- 合格祈願
- 新成人奉告祭

※その他各種ご祈祷

お電話や申込フォームにてご予約受付中

申込 QR

【初神楽祈祷のご案内】

一月一日　午前零時より

歳旦祭に合わせ、新たな年の皆様の安寧、繁栄を祈り初神楽祈祷を斎行します。当社拝殿にて新春を寿ぐ初神楽とともに新年を迎えます。どなたでもお申込み頂けます。

（十組限定）

申込 QR

お伊勢さんと稲生の大神さまの御神札（おふだ）をお祀りしましょう。

十二月三十一日（水）午後三時

年越の大祓式

おお はらえ しき

【大祓式とは】

日常において知らず知らずに犯した罪、心身の穢れ、一切の災厄を消滅させ、人間本来の清浄な姿をとりもどし、平穏無事な生活を期待する日本古来の習わしです。六月三十日（夏越）と十二月三十一日（年越）に行われるもので、特に年越の大祓式は清々しい心身で以って新年をお迎え頂くための習わしです。

どなたでもご参列頂けます

● 一家族　人形・車形　各一〇〇〇円

ご希望の方は拝殿前の大祓申込封筒でお申込み頂くか、神社社務所へお問合せ下さい。

伊奈冨神社（いのうじんじゃ）

電話　〇五九ー三八六ー四八五

伊奈冨神社拝殿

歳旦祭　初神楽のご案内

当社の歳旦祭に合わせ、初神楽祈祷を斎行致します。当社拝殿内にて稲生の大神様とともに新たな年をお迎え頂き、この国の安寧と延いては皆さまの平穏無事を願います。

新春を寿ぐ歳旦祭　初神楽では、天の岩戸開きの神事に習い、巫女と楽人の奉仕により神楽舞を奉納致します。凛とした殿内で新たな年を新たなお気持ちでお迎え頂き、良き年となりますようご案内致します。

初神楽の内容

一、新年を拝殿内にてお迎え頂きます

一、巫女と楽人により初神楽をご奉仕します

一、お申し込みの方の願意とお名前を奏上します

一、斎行後、お下がりを授与します

※お申込みや詳細については神社へお問い合わせ下さい

令和八年　伊奈冨神社　歳旦祭初神楽のご案内

謹啓　時下愈々御清栄の段　慶賀に存じます。
平素は伊奈冨神社の事に関し種々御高配を賜り、心より御礼申し上げます。本年も残すところあと僅かとなり、皆様にはこの一年の感謝を申し上げるばかりでございます。
さて、標記の通り、当社歳旦祭にあたり、初神楽を斎行致します。つきましては、稲生の大神様とともに新たな年をお迎え頂き、令和八年が良き年となりますよう左記の通りご案内申し上げる次第でございます。
先ずは右、歳末の御礼方々、書中を以ってご案内申し上げます。

令和七年師走　　謹白

伊奈冨神社社務所

各　位

記

一、日時　令和八年元旦　午前零時　斎行
一、場所　伊奈冨神社拝殿
一、申込　左の申込書式に必要事項をご記入の上、神社へお申し込み下さい。
※お電話やＦＡＸでのお申し込みも承ります。
※十組限定のお申し込みです。ご希望の方は、お早めにお申し込みください。
一、問合　伊奈冨神社　電　話　〇五九―三八六―四八五二
ＦＡＸ　〇五九―三八六―九二八一
※ 当日は初詣のため混雑が予想されます。昇殿ご案内の都合上、十五分前までに当社拝殿東側通用口（拝殿向かって右）にご参集下さい。
※ 男性は背広など、女性はそれに準ずる改まった服装でお越し下さい。殿内は冷え込みが予想されますので防寒対策をお勧め致します。

きりとり

令和八年　伊奈冨神社　歳旦祭初神楽　申込

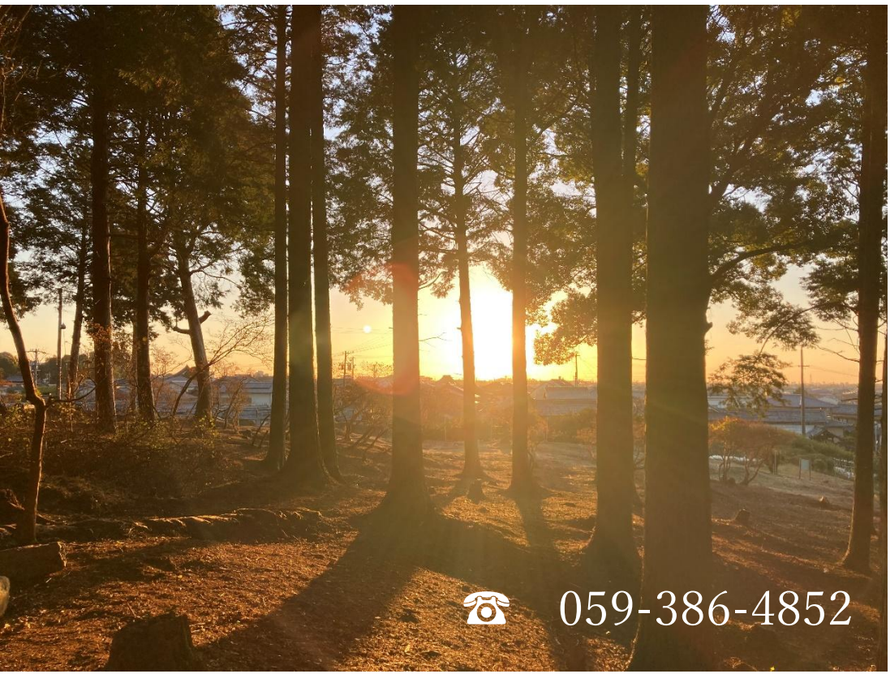
〒　住所	氏名（ふりがな）	生年月日	願　意

←こちらの QR コードからもお申込み頂けます。

※お正月の日の出

午前七時ごろ

稲生で迎える初日の出　　初詣は　伊奈冨神社へ



伊奈冨神社の境内「稲生山」はかつて「神路岡（かみじがおか）」と呼ばれ、大宮・西宮・三大神の稲生三社がお祀りされた、まさに神の鎮まる丘です。古く三大神の社殿があった東面からは朝日を拝むことができます。お正月はこの「二千年の神路」で朝日を迎えましょう。

伊奈冨神社の

新年

祈祷

ご祈祷仮申し込みフォームはこちら▶

伊奈冨神社の

厄除祈願

ご祈願のご予約はお電話もしくは申込ＱＲコードをご利用下さい。

令和8年　厄年・年祝い　早見表

厄　年

男			女		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
昭和61年生 41歳	昭和60年生 42歳	昭和59年生 43歳	平成7年 32歳	平成6年 33歳	平成5年 34歳
平成15年 24歳	平成14年 25歳	平成13年 26歳	平成21年生 18歳	平成20年生 19歳	平成19年生 20歳

年　祝　い

還暦	古希	喜寿	傘寿	米寿	卒寿	白寿
昭和41年生 61歳	昭和32年生 70歳	昭和25年生 77歳	昭和22年生 80歳	昭和14年 88歳	昭和12年 90歳	昭和３年 99歳

元服の年祝	男
	平成22年生 17歳

←申込QR

十三参りの年祝	女
	平成26年生 13歳

※年齢については、すべて数え年です。ご祈祷のご予約は神社まで。伊奈冨神社059-386-4852

ご祈祷仮申し込みフォームこちら▶

御鍬祭（みくわさい）

一月十二日（月・祝）
祭　典　午後二時
獅子舞　午後二時半頃

五穀の豊穣を願い
御鍬獅子が舞う

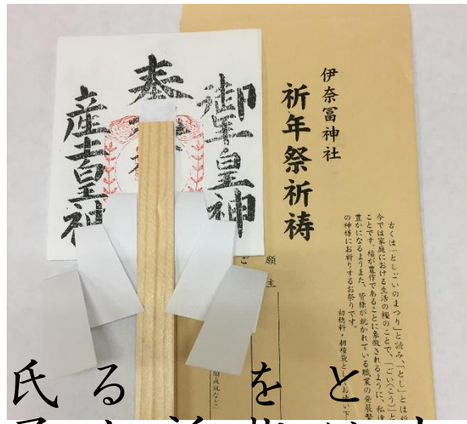
「御鍬祭」は稲生の里が田仕事に入る前、その年の農作業が滞ることなく豊かな稔りを頂けるよう、ひいては我々の暮らしの安寧を願い奉仕されます。

厳粛な祭典の後、勇壮な獅子舞がご奉仕されます。皆様のご参拝、ご拝観をお待ち申し上げます。

二月十八日（水）午後二時

稲生の農業・産業・商工業の繁栄を祈る大祭

祈年祭



古くは「としごいのまつり」と読み、「とし（年＝稔）」とは稲の稔りを指し、今日では家庭における生活の糧を指し、「ごい（祈い＝乞い）」とは祈ることです。祈年祭とはつまり、稲が豊作であることに象徴されるように、私たちの生活が豊かであるよう、引いては氏子の皆様の職業の発展・繁栄を祈るお祭りです。

【その他のご案内】

二月十四日（土）　午後八時より

世例祭（よだめし）

伊奈冨神社の秘儀とも言われる粥占いのお祭り。古くより稲作の豊凶を占う、稲生の氏子の関心事。当日は各地区の宮総代参列のもと斎行致します。

奉納書道展開催

●展示期間
二月二十一～三月一日

●場所　伊奈冨神社社務所
どなたでも拝観頂けます。

●作品奉納の詳細は神社まで
電話　三八六-四八五二

伊奈冨神社